

小4国語 出題のねらいと対策

1 漢字の読み書き 86.9%

ねらい：漢字の読みと書きが正しく答えられるかを問う。

分析と対策：筆順や画数に注意が必要な漢字は、ふだんから気をつけていてねいに書く練習をしましょう。

2 漢字辞典の使い方 57.5%

ねらい：漢字辞典の使い方や、部首・総画数の理かいを問う。

分析と対策：漢字の読み方がわからないときは、部首索引を使うと便利です。「へん」「かんむり」「つくり」などに分類して、ノートなどにまとめるとよいでしょう。読み方も部首もわからないときには、総画索引を使います。総画数を調べるとき、「弓」「己」「卩」「乚」「廴」は三画、「廵」は五画など、まちがえやすいものは特に注意して正しく覚えるようにしましょう。

3 こそあどことば 83.3%

ねらい：「こそあどことば」の使い分けの理かいを問う。

分析と対策：もの・ことがらを表すもの、場所を表すもの、方向を表すもの、性質や状態を表すものを、「こ」・「そ」・「あ」・「ど」ごとに整理して覚えておきましょう。直前でのべたことばをもう一度くり返すのではなく、「こそあどことば」におきかえていることを理かいいし、そのうえで、どのことばを指しているかをとらえられるようにしましょう。

4 詩と鑑賞文の読みとり 52.1%

ねらい：詩と鑑賞文から、作者の思いなどを正しく読み取れるかを問う。

分析と対策：高田敏子の「じっと見ている」という詩からの出題です。作者は、詩を通して、ふだん見なれているものをじっと見つめてみることで、ふだん気づかなかったことに気づき、そこから連想が広がって詩が生まれると考えています。(1)は詩の基本的な知識の問題です。(2)(3)は詩の細部を読みとる問題です。(4)は詩の主題を読みとる問題です。(5)は詩の表現の問題です。

5 物語の読みとり 67.2%

ねらい：登場人物の行動や、気持ちをとらえられるかを問う。

分析と対策：松本聰美の「ぼくのパワー」からの出題です。「ぼく」が、おじいさんとの約束を守り、道路のきれつで人が転ばないように行動する場面が描かれています。「ぼく」の人物像や、「ぼく」の弟・みつるの心情が変化していく様子を読みとりましょう。(1)は様子を表すことばの問題です。(2)(3)はおじいさんと「ぼく」のやり取りから正解を導きます。(4)ではおまわりさんが来るのがおそくなった理由を記述します。(5)は慣用的な表現の問題です。(6)はみつるの気持ちを読みとる問題です。(7)は「ぼく」の性格を読みとる問題です。(8)では本文と照らし合わせて、内容が正しいものを選びます。

全体の平均点は 67.4 点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。